

4月5日：VN指数は世界的な株安の影響を受け下落 (VN-Index - 1.04%)

- VN指数は前日終値を大きく下回った水準で取引を開始。米FRBによる利下げ見通しが後ずれする懸念から世界的に株価が下落し、ベトナム株式市場にも波及した。
- 取引序盤では大型株が相場全体の重しとなり、投資家心理の悪化から指数は一段と下げ幅を広げた。
- 鉱業セクターにおける個別銘柄の急騰が、相場の急落を食い止めた。
- 後場には市場は安定し、回復するかと思われた。しかし、ATCセッションでの大口な売り注文により、指数は再び本日の最安値付近まで引き戻された。
- 再び売り優勢に傾き、116銘柄が上昇、381銘柄が下落、57銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は5.4%増の25.1兆ドンとなった。

VN30指数は市場全体の重しに (VN-30 -0.78%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、2銘柄が上昇、26銘柄が下落、2銘柄が変わらずとなった。
- 主な下落銘柄は多く、特に目立ったのはGVR (-4.83%)、VRE (-2.37%)、SSI (-2.26%)、VIB (-2.16%)、MSN (-2.04%)などだった。
- 大幅な上昇はなかった。

セクター・個別株の動き

- HDB (0.00%) は2023年の現金配当10%、株式配当15%を発表した。また、2024年の純利益目標を15兆8520億ドン（前年比+22%）に設定した。
- POM (-6.90%) は、HoSE が情報開示違反を理由に上場廃止を決定したため、3セッション連続で下値を更新した。

- 外国人投資家の買い越しと売り越しはほぼ同額で、本日は 250 億ドルの買い越しとなった。NVL (+4.57%) と MWG (+0.59%) が最も買い越された銘柄だった。一方、売り越し上位銘柄は VHM (-0.12%) がトップで、PVD (-1.94%)、FUSSVFLが続いた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。